操作

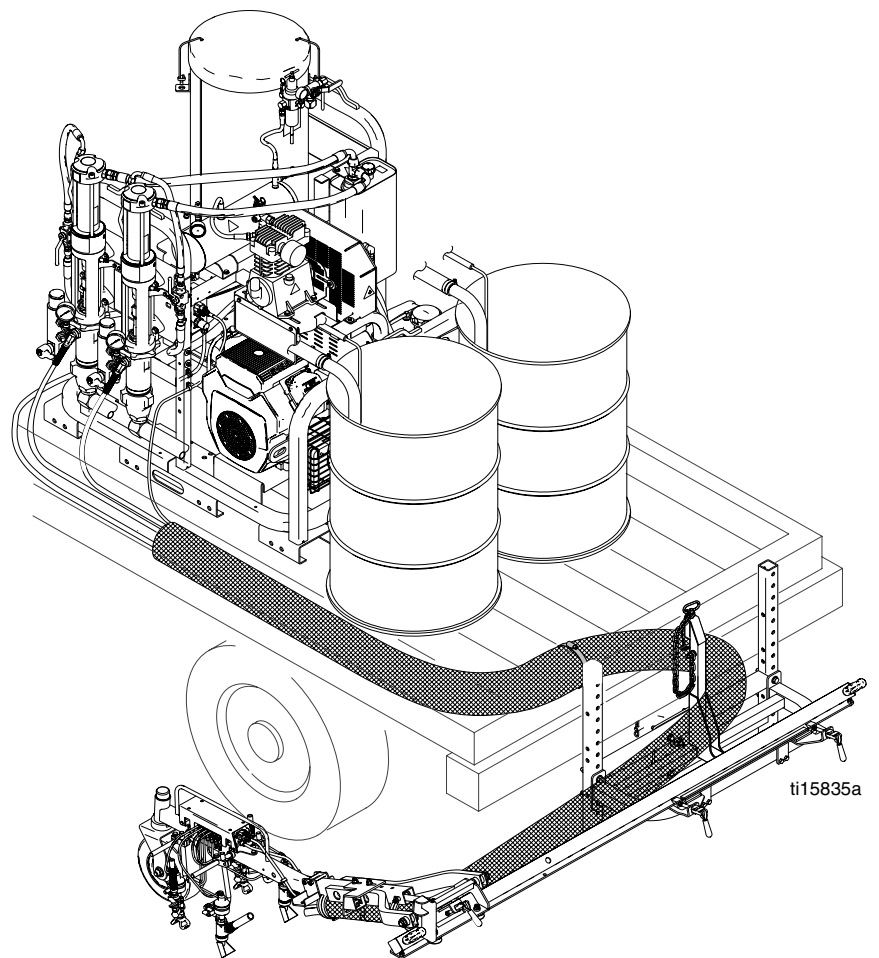
RoadLazer RoadPak ラインストライピングシステム

3A1764C
JA

– 路面標識と反射コーティングの塗布用 –
– 一般目的では使用しないでください –

モデルのリスト（2 ページを参照）
20 Mpa/200 bar(2900 psi) 最大使用圧力

重要な安全注意
本取扱説明書のすべての警告および説明をお読み下さい。説明書は保管しておくようにして下さい。

PROVEN QUALITY. LEADING TECHNOLOGY.

モデル

参照	型番	部品名称
1	24G624	1 ポンプ RoadPak
2	24G625	2 ポンプ RoadPak
3	24G626	シングルヒッチ取り付けフレーム
4	24G627	RoadPak スライドイン式取り付けフレーム
5	24G628	1 ポンプ RoadPak ガンアーム
6	24G629	2 ポンプ RoadPak ガンアーム
7	24G630	ガンアームビーム
8	24G632	RoadLazer/RoadPak コントロール
9	24G633	Road View カメラシステム
10	24G634	RoadPak ポインタシステム

完全アセンブリ

部品番号	部品名称
24G677	RoadPak システムオプション 1 (1、3、5、7、8、10)
24G679	RoadPak システムオプション 2 (1、3、5、7、8、9、10)
24G681	RoadPak システムオプション 3 (1、4、5、7、8、10)
24G683	RoadPak システムオプション 4 (1、4、5、7、8、9、10)
24G685	RoadPak システムオプション 5 (2、3、6、7、8、10)
24G687	RoadPak システムオプション 6 (2、3、6、7、8、9、10)
24G689	RoadPak システムオプション 7 (2、4、6、7、8、10)
24G691	RoadPak システムオプション 8 (2、4、6、7、8、9、10)

警告

次の警告は、この機器のセットアップ、使用、接地、整備と修理のためのものです。感嘆符の記号は一般的な警告を、危険記号は手順自体の危険性を知らせます。これらのシンボルが、この取扱説明書の本文に表示された場合、戻ってこれらの警告を参照してください。このセクションにおいてカバーされていない製品固有の危険シンボルおよび警告は、必要に応じて、この取扱説明書の本文に表示される場合があります。

火災、爆発の危険

作業場での、溶剤や塗料の気体のような、可燃性の気体は、火災や爆発の原因となることがあります。火災と爆発を防止するために：

- 十分換気された場所でのみ使用するようにして下さい。
- エンジンの運転中または熱い間は、燃料タンクに燃料を入れないでください。エンジンを停止して冷却させてください。燃料は可燃性であり、熱面にこぼれた場合、引火または爆発の恐れがあります。
- 表示灯やタバコの火、懐中電灯および樹脂製シート（静電アークが発生する恐れのあるもの）などの全ての着火源は取り除いて下さい。
- 溶剤、ボロ巾およびガソリンなどの不要な物を作業場所に置かないで下さい。
- 引火性の気体が充満している場所で、電源プラグの抜き差しや電気スイッチの on/off はしないで下さい。
- 作業場所にあるすべての装置を接地して下さい。**接地方法**の説明を参照してください。
- アース入りホースのみを使用して下さい。
- 容器中に向けて引金を引く場合、ガンをアースした金属製ペール缶の縁にしっかりと当てて下さい。
- 静電気火花が生じたり、またはお客様が電気ショックを感じた場合は、**操作を直ちに停止してください。** お客様が問題を特定し、解決するまで、機器を使用しないで下さい。
- 作業場所に消火器を置いて下さい。

高圧噴射よる危険

ディスペンスバルブ、ホースの漏れ、または部品の破裂部分から噴出する高圧の液体は皮膚を貫通します。これはただの切り傷のように見えるかもしれませんが、体の一部の切断にもつながりかねない重傷の原因となります。**直ちに外科的処置を受けてください。**

- 液体アウトレットと漏れには近づかないでください。
- ポンプの定格以上の圧力定格を持つガン、ホース、および他のコンポーネントを使用してください。
- 整備または清掃する前に、**圧力開放**に従ってください。
- ディスペンス装置を人や体の一部に向けないでください。
- 液漏れを手、体、手袋またはボロ巾等で止めたり、そらせたりしないで下さい。
- 装置を運転する前に、液体の流れる全ての接続個所をよく締め付けて下さい。
- ホースおよびカップリングは毎日点検してください。摩耗又は損傷した部品は直ちに交換して下さい。

稼動部品の危険

可動部品は指や身体の一部を挟んだり、切断したりする恐れがあります。

- 運動部品に近づかないで下さい。
- 保護ガードまたはカバーを外したまま装置を運転しないで下さい。
- 圧力がかかった機器は、警告なしに起動することがあります。機器をチェック、移動、整備する前に、**圧力の逃し方**に従い、すべての電源の接続を外してください。

WARNING	
	装置の誤用による危険 装置を誤って使用すると、死亡事故または重大な人身事故を招くことがあります。 • 疲労しているとき、または薬物の服用や飲酒状態で装置を操作しないで下さい。 • システム内で耐圧又は耐熱定格が最も低い部品の、最高使用圧力又は最高使用温度を超えないようにして下さい。すべての機器取扱説明書の**技術データ**を参照してください。 • 装置の接液部品に適合する液体又は溶剤を使用して下さい。すべての機器取扱説明書の**技術データ**を参照してください。液体および溶剤製造元の警告も参照してください。ご使用のマテリアルに関する完全な情報については、販売代理店または小売店より MSDS を取り寄せてください。 • 装置に電圧がかかっている、あるいは圧力を受けている間は作業場から離れないでください。装置の使用を終了する場合は、すべての装置の電源を切断し、**圧力の逃し方**に従ってください。 • 毎日、装置を点検して下さい。消耗または破損した部品は、純正の、製造者の交換部品のみを使用して、速やかに修理または交換してください。 • 装置を改造しないで下さい。 • 装置を定められた用途以外に使用しないで下さい。詳しくは販売代理店にお問い合わせ下さい。 • ホースおよびケーブルを車両の通行する路面、鋭角のある物体、運動部品、加熱した表面などに近づけないで下さい。 • ホースをねじったり、過度に曲げたり、ホースを引っ張って装置を引き寄せたりしないで下さい。 • 子供や動物を作業場所から遠ざけて下さい。 • 適用される全ての安全に関する法令に従って下さい。
	一酸化炭素の危険性 排気には、無色無臭の有毒な一酸化炭素が含まれています。一酸化炭素を吸引すると、死亡する恐れがあります。 • 密閉した場所で操作しないで下さい。
	有毒な液体または気体による危険 有毒な液体や蒸気が目に入ったり皮膚に付着したり、吸込んだり、飲み込んだりすると、重傷を負ったり死亡する恐れがあります。 • MSDS（材料安全データシート）を参照して、ご使用の液体の危険性について認識するようにしてください。 • 有毒な液体は保管用として許可された容器に保管し、破棄する際は適用される基準に従って下さい。
	火傷の危険 運転中、機器の表面および液体は加熱されて非常に高温になるおそれがあります。重度の火傷を避けるためには： • 加熱した液体または装置に触らないこと。
	作業者の安全保護具 ユーザーは、機器を操作または整備している際、または機器の動作領域にいる際、目の怪我、難聴、毒性ガスの吸引および火傷を含む大怪我から自身を守るために、適切な保護器具を身につける必要があります。この機器は下記のものを含んでいますが、必ずしもこれに限定はされません： • 保護めがねおよび耳栓。 • 液体および溶剤の製造元が推奨する呼吸マスク、保護服および手袋。

前書きと一般情報

はじめに

この取扱説明書と以下にリストされているものは、RoadLazer システムのためのセットアップ前の要件、部品リスト、セットアップ、操作、および整備の説明を提供します。この取扱説明書には 2 ポンプシステムの説明が含まれています。1 ポンプシステムでは、ポンプとホースが欠けている場合のための栓がされているポートを除いて、すべての部品は同じです。

一般情報

RoadLazer は車両に取り付けられ、最大 2 つまでの 1 色または 2 色のガラスビードのストライプをストライピングします。

RoadLazer はプログラマブル Skipline コントローラ、ロアーポンプ、2 つの塗料スプレーガン、2 つのビードスプレーガンで構成されています。

プログラマブル Skipline コントローラ

プログラマブル Skipline はコントロールボックスと 9.14 m(30 ft) のケーブルで構成されています。それは RoadLazer システムのメインコントロールであり、スプレーガンと付属品をオン / オフにします。

前方誘導システム

前方誘導機械システムは、ユーザーに車両の左側または右側のいずれかに調節用のポインタを提供します。

ビデオ誘導システム™（オプション）

ビデオ誘導システムはユーザーに、けん引き車両の左側または右側のいずれかに照準表示のビデオを、調節用に提供します。システムは 22.86 cm (9 インチ) のモニター、接続ケーブル、ビデオカメラ、および取り付けブラケット

RPS 2900 油圧式ポンプ

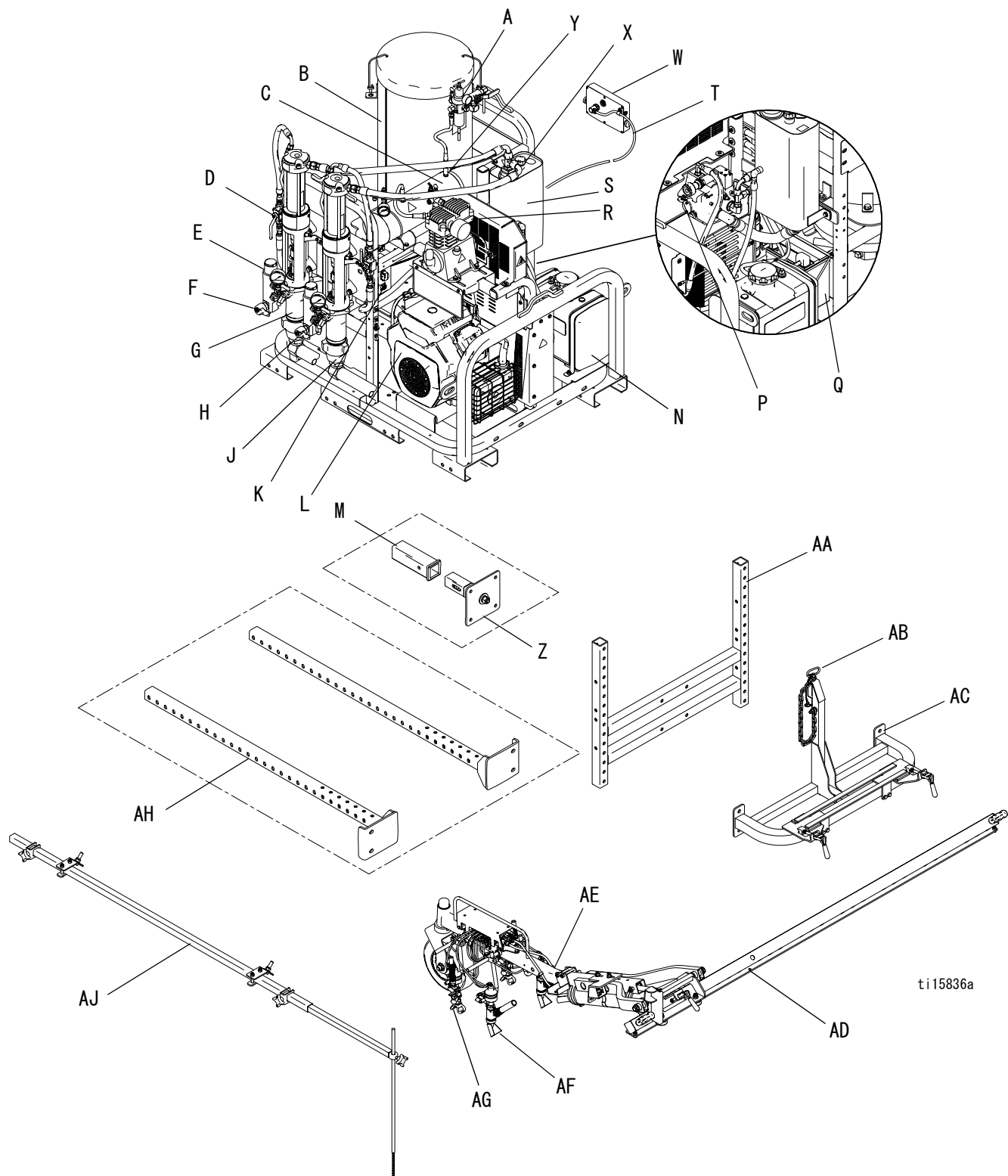
RPS 2900 油圧式ポンプはスプレーガンに塗料を供給します。ロアーポンプは 2 つあります。2 つのロアーポンプがユーザーに 2 色システムを利用することを可能にします。

塗料スプレーガン

塗料スプレーガンは、プログラマブル Skipline コントローラから指令を受ける際に空気式にトリガーされ、塗料のストライプを噴霧します。

ビードスプレーガン

ビードスプレーガンは、プログラマブル Skipline コントローラから指令を受ける際に空気式にトリガーされ、反射材料を噴霧します。

構成部品の名称

構成部品の機能

A	エアレギュレータ	ビードタンクの空気圧の制御を可能にします
B	ビードタンク	136 リットル (36 ガロン) の反射材料またはシングルまたはダブルドロップビーディングのためのエレメントを入れられます
C	エアアキュムレータタンク	圧縮機からのエア温度の減少を助けます
D	油圧式バルブ	油圧式モータへの油圧油をシャットオフ / オンにするバルブです
E	液体フィルタ	液体の供給源とスプレーガンの間の液体をろ過します
F	圧力ドレンバルブ	開いている場合、液圧を逃がします
G	RPS 2900 油圧式ポンプ	スプレーガンを通してスプレーする液体を提供します
H	液アウトレット	ロアーポンプからスプレーガンに液体を供給します
J	液インレット	塗料用ドラム缶からロアーポンプへの液体の注入口です (塗料容器は表示されていません)
K	電気配線ボックス	ユーザーに電気システムへのアクセスを可能にします
L	18 HP エンジン	油圧式ポンプとエア圧縮機にパワー供給します
M	5.1 cm (2 インチ) ヒッチレシーバー (提供されていません)	ガンアームをトラックの後部につなぐのに必要です
N	燃料タンク	6 ガロン (23 リットル) のガソリンを入れられます
P	油圧圧力コントロールノブ	油圧の調節を提供します (時計回り方向が圧力の増加)
Q	バッテリー	エンジンとコントロールボックスを起動させるための電源を供給します
R	圧縮機	ソレノイドにエア供給源を提供し、ビードタンクを加圧します
S	油圧式リザーバ	油圧式ポンプ用に 15.1 リットル (4 ガロン) の油圧オイルを入れられます
T	I/O ケ - ブル	コントローラから RoadLazer に電子制御信号を伝送します
W	プログラマブル Skipline コントローラ	ユーザーが RoadLazer の操作をプログラムすることを可能にします
X	通気キャップ	油圧式リザーバの通気、油の確認、および油の充填する方法を提供
Y	空気圧のクイックリリース	ユーザーに加圧されたエアの使用を可能にします
Z	ヒッチ挿入部	ガンアームをシングルヒッチの車両に接続することを可能にします
AA	ブラケットの取り付け	ユーザーにガンアームマウントを最適な高さに接続することを可能にします
AB	収容ブラケットピン	RoadLazer が移動モードの際に、スプレーガンのブームアームを固定します
AC	ガンアームマウント	メインビームとガンアームをサポート
AD	スライドビーム	スプレーガンのブームアームをサポート
AE	スプレーガンのブームアーム	調節可能の距離で車両の両側にストライピングすることを可能にします
AF	ビードスプレーガン	コントローラに指令を受ける際にビードを噴霧します
AG	塗料スプレーガン	コントローラに指令を受ける際に液体を噴霧します
AH	スライドイン式取り付けフレーム	ユーザーにガンアームを RoadPak フレームに接続することを可能にします
AJ	RoadPak ポインタシステム	ユーザーに調節ツールの使用を可能にします

セットアップ

バッテリーの充電

バッテリーが新しく購入されたもの、または長い間使用されていない場合は、使用する前にそれを充電してください。

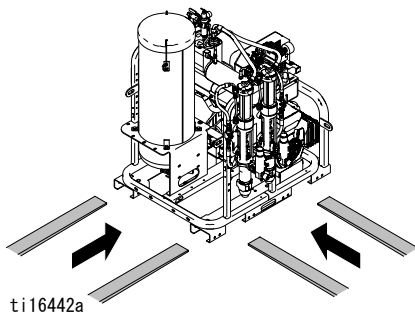
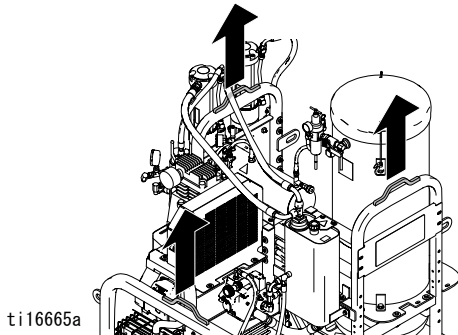
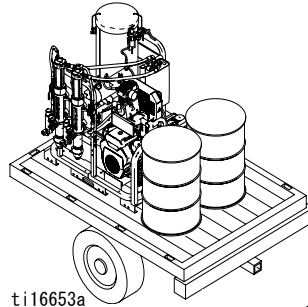
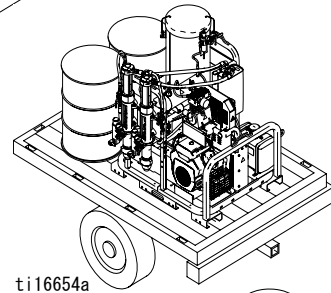
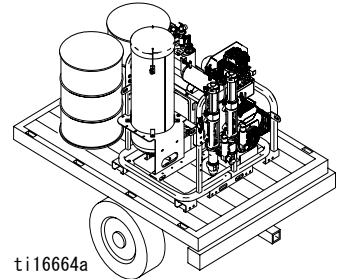
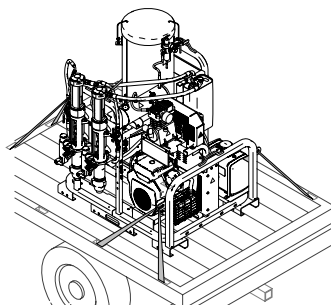
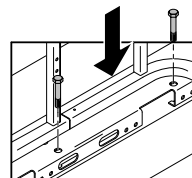
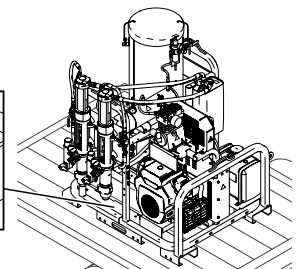
車両への RoadLazer の取り付け

移動中と運転中に動くことを防ぐために、RoadLazer は適切に固定する必要があります。

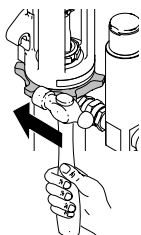
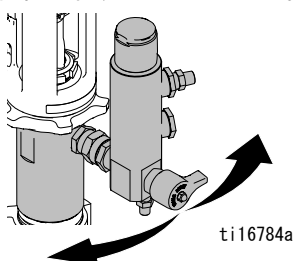
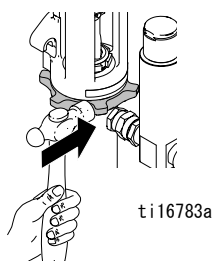
塗料用ドラム缶は重たく、車両が角を曲がる際に左右に動く可能性があります。塗料用ドラム缶が車両から落ちて、人身事故または死亡事故が発生する可能性があります。車両が移動中または噴霧中の際は、容器を固定してください。

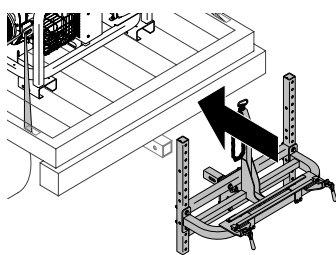
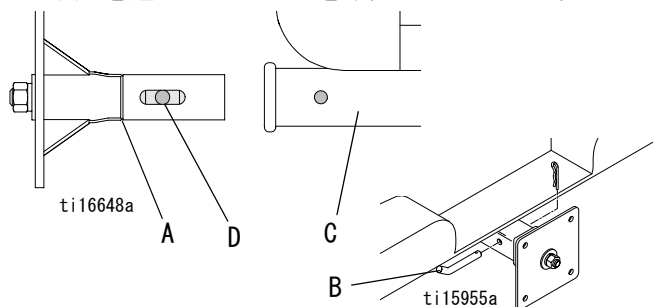
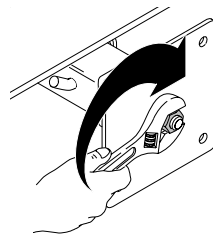
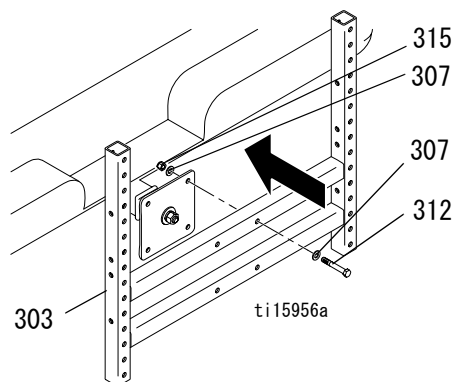
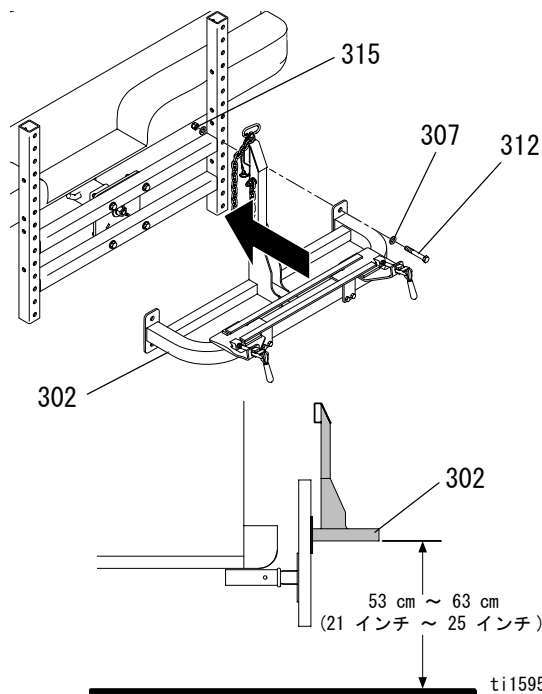
塗料用ドラム缶が完全に満たされている状態で車両が移動している場合、塗料が塗料用ドラム缶の注ぎ口アダプタから飛散する可能性があります。塗料容器を過剰に充填しないでください。

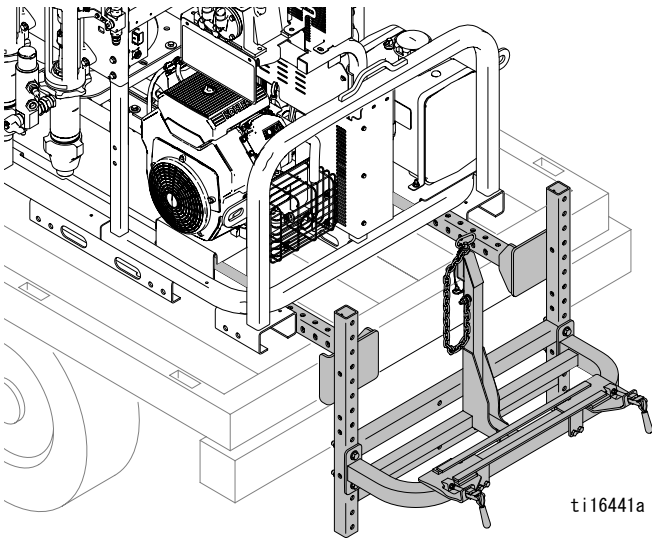
RoadPak の取り付け (24G624, 24G625)

RoadPak の荷重に合う定格であるフォークリフトまたはホイストを使用して RoadPak を車両に積み込んでください。RoadPak の重量の情報については**技術データ、27 ページ**を参照してください。

RoadPak は車両の荷台の前方または後方に取り付けられることに加え、あらゆる方向に取り付けることも可能です。RoadPak のベースは 1.0 m x 1.25 m (39.5 インチ x 49.5 インチ) です。

RoadPak を車両に取り付けた後は、4 隅すべてに固定ブラケットを使用、または 4 か所すべてにトラックの荷台からフレームを通して RoadPak をボルト締めにすることで、RoadPak を車両にしっかりと固定してください。

フィルタの方向付け

RoadPak を車両に取り付けて固定した後、フィルタアセンブリを希望通りに設置してください。

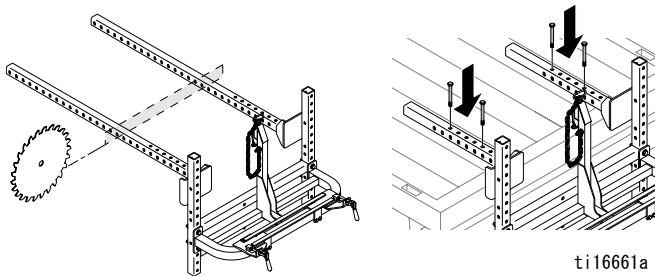
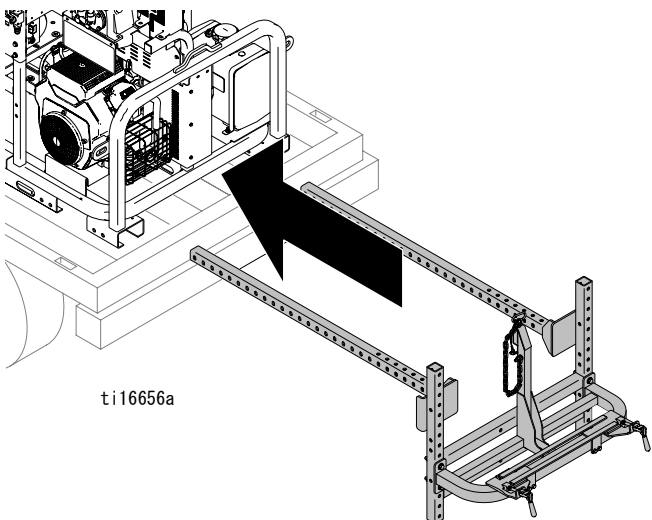
1. ポンプアセンブリの大きな薄ナットを緩めるにはハンマーを使用してください。

2. フィルタアセンブリを希望の方向に回転させ、ハンマーを使用して薄ナットを締めてアセンブリを設置位置に固定してください。

ガンアームのブラケットマウント

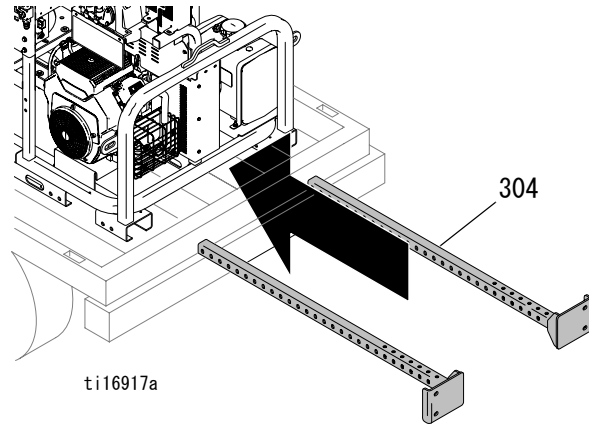
シングルヒッチ取り付けブラケット (24G626) の取り付け（オプション 1)

1. ヒッチ挿入ブラケット (A) をレシーバ (C) に取り付けます。ヒッチピン (B) が締めつけロッド穴 (D) を通っていることを確認してください。

2. ヒッチ挿入ブラケットがレシーバにしっかりと引っ張られ、2 つの部品の間で動きがなくなるまでナットを締めます。

3. 高さ調節ブラケット (303) をボルト (312)、ワッシャ (307)、およびナット (315) でヒッチ挿入ブラケットに取り付けます。高さ調節ブラケットが水平に取り付けられていることを確認してください。

4. 収容ブラケット (302) をボルト (312)、ワッシャ (307)、およびナット (315) で高さ調節ブラケット (303) に取り付けます。収容ブラケットの底面を地面から 53 cm ～ 63 cm(21 インチ～ 25 インチ）の位置に合わせてください。収容ブラケットが水平に取り付けられていることを確認してください。

RoadPak 取り付けブラケット（24G627）の取り付け（オプション 2）

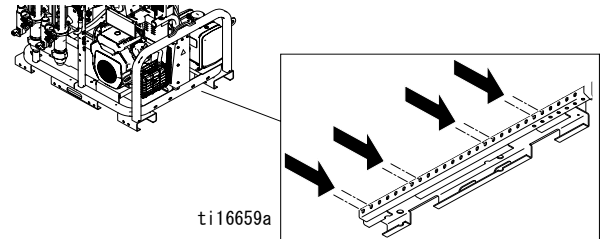
ti16441a

注：以下の取り付け技術に加え、RoadPak の取り付けアームを切り、荷台を通して車両のフレームにボルト付けるオプションがあります。

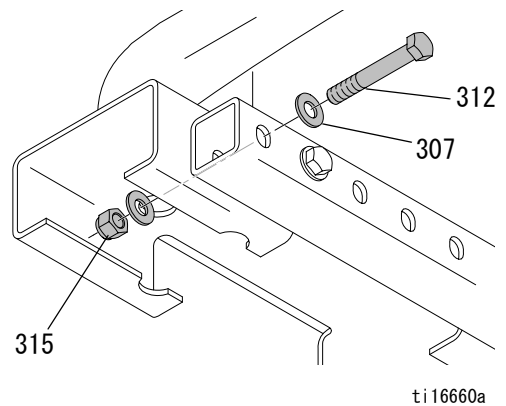
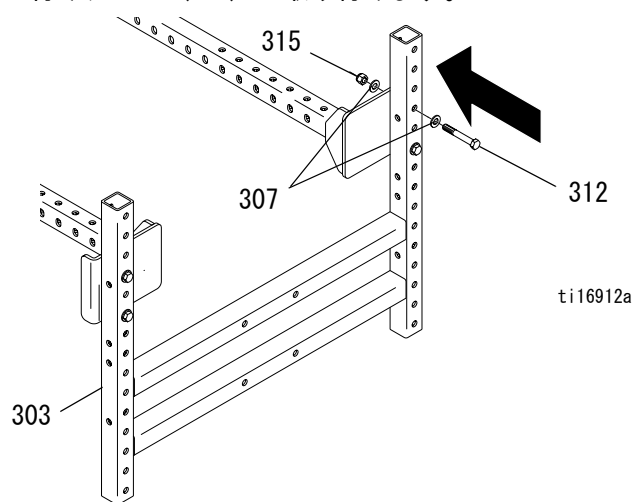
ti16661a

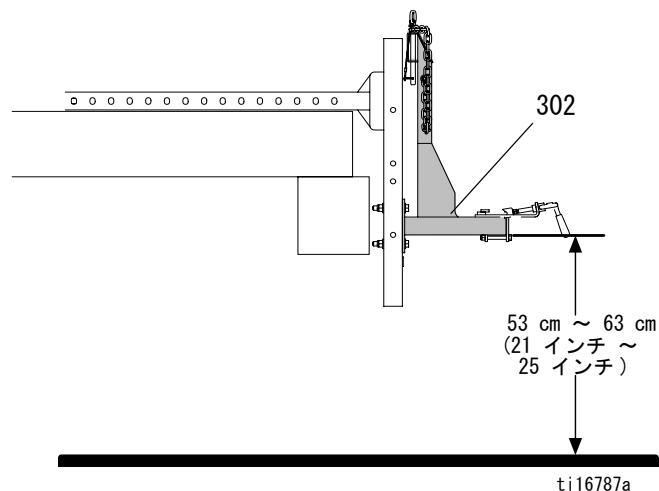
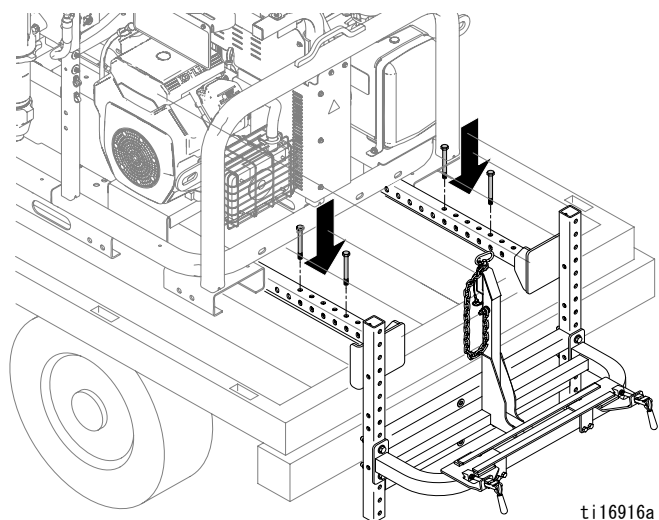
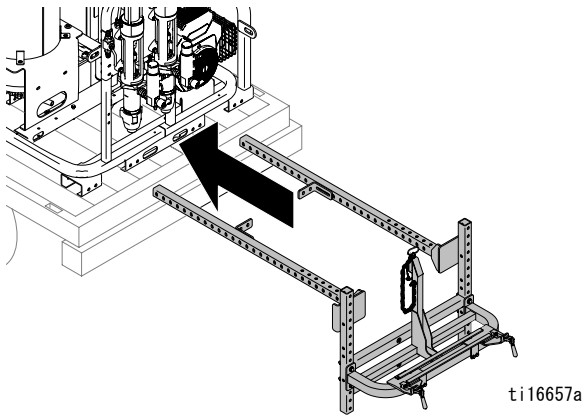
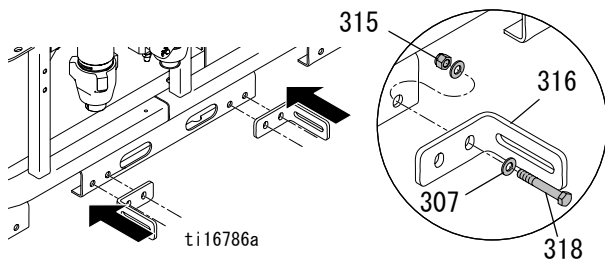
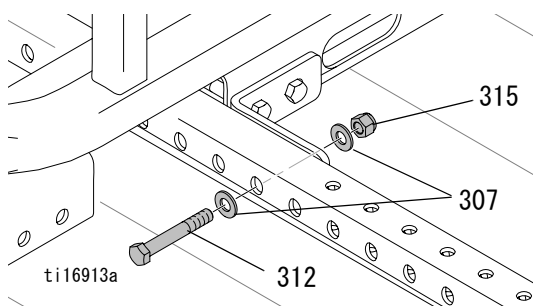
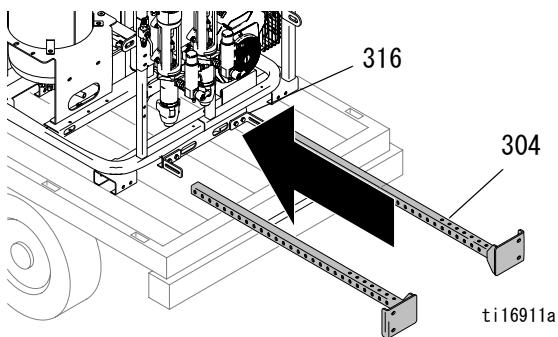
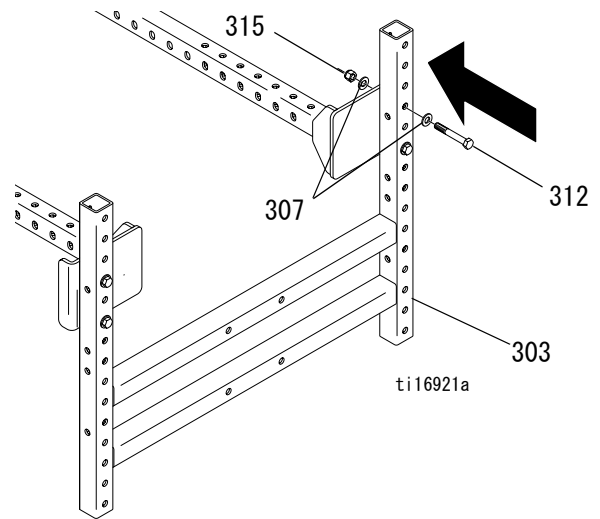
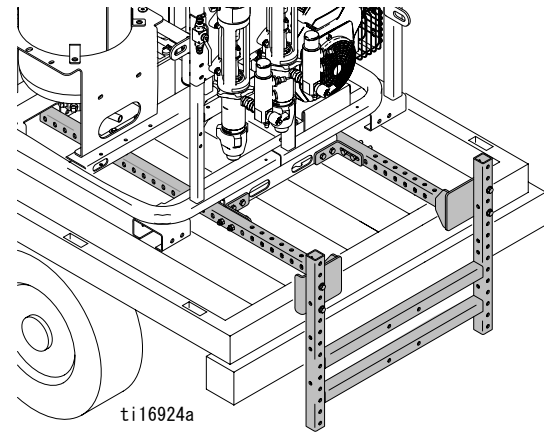
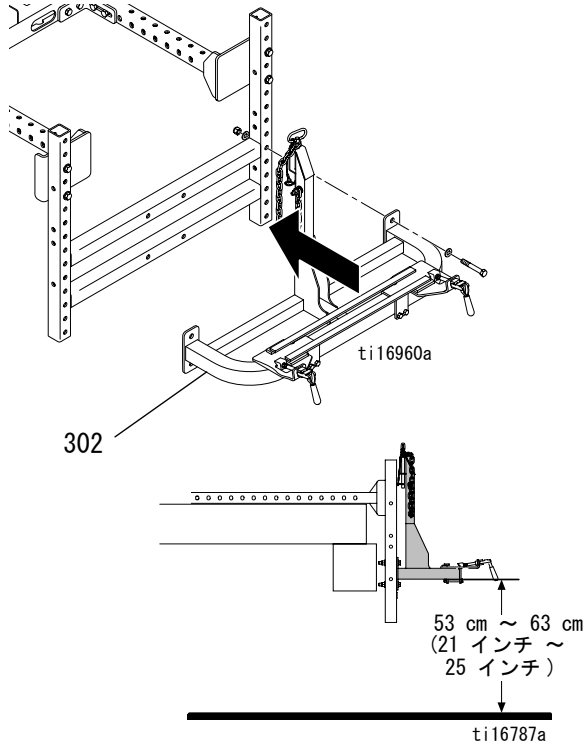
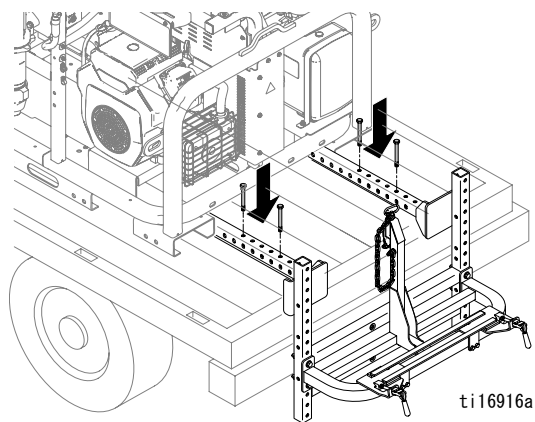
縦置き

ti16656a

1. RoadPak 取り付けアーム（304）を 2 つのフォークリフトチャンネルの間にスライドしてください。

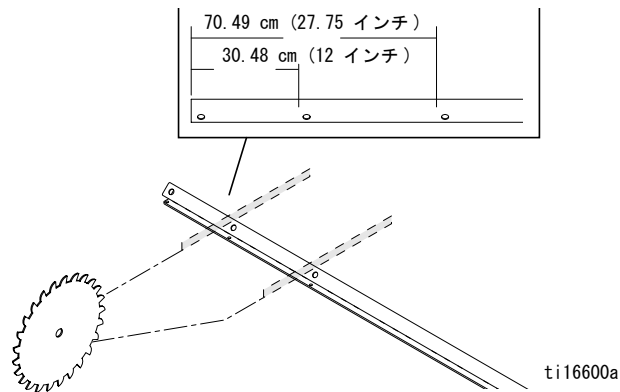
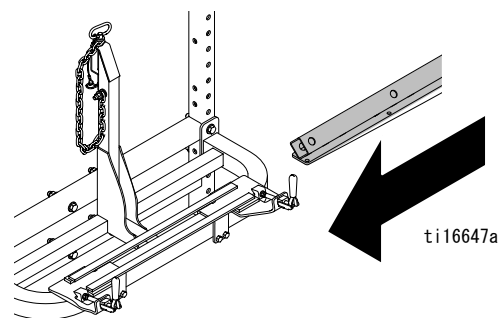
ti16917a

2. RoadPak の車両での位置によって、RoadPak のフレームでどの穴を通してボルト付けするか決定されます。各取り付けアームにつき 8 か所の使用可能な取り付け穴があります。両側とも少なくとも 2 つ穴に固定してください。

ti16659a

3. マウントにボルト（312）、ナット（315）、およびワッシャ（307）を手で締めます。

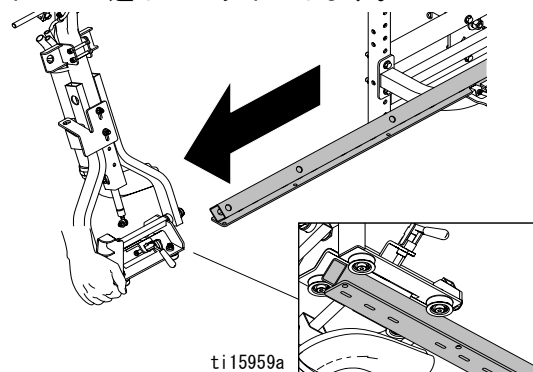
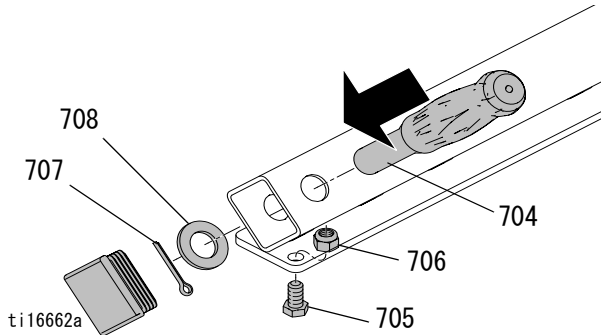
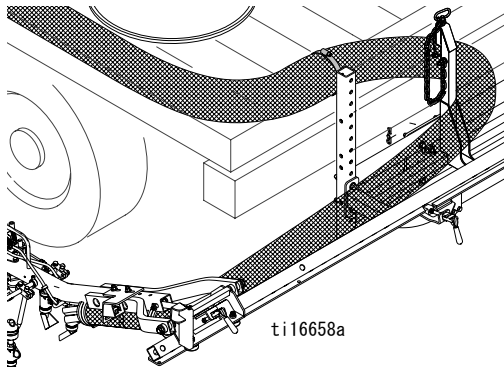
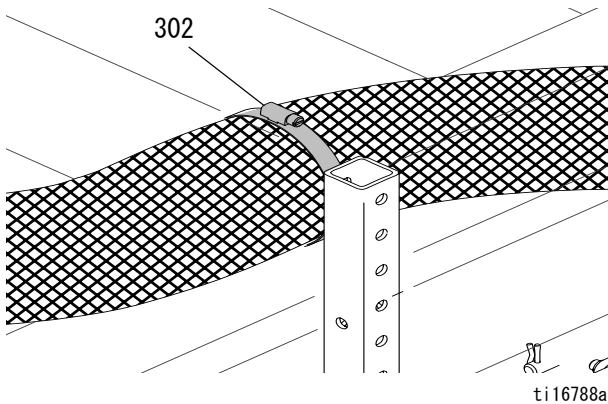
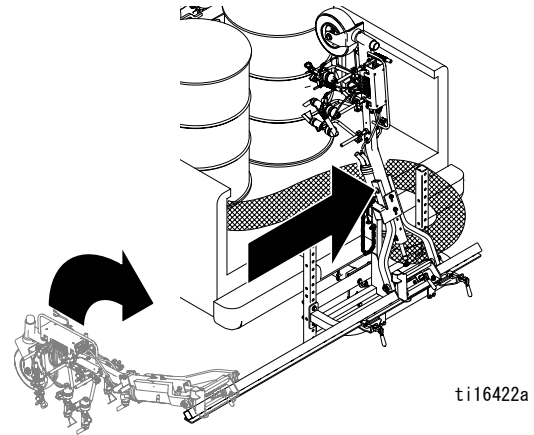
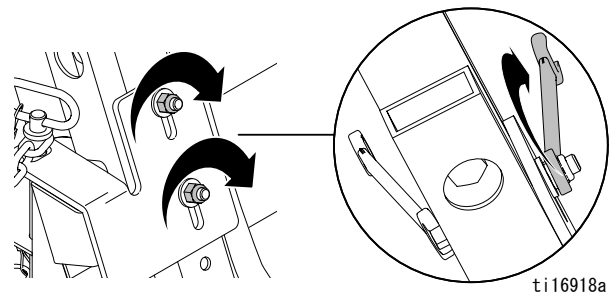
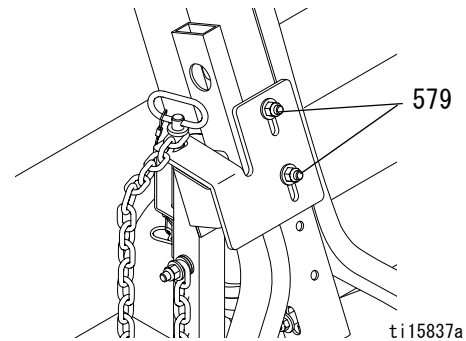
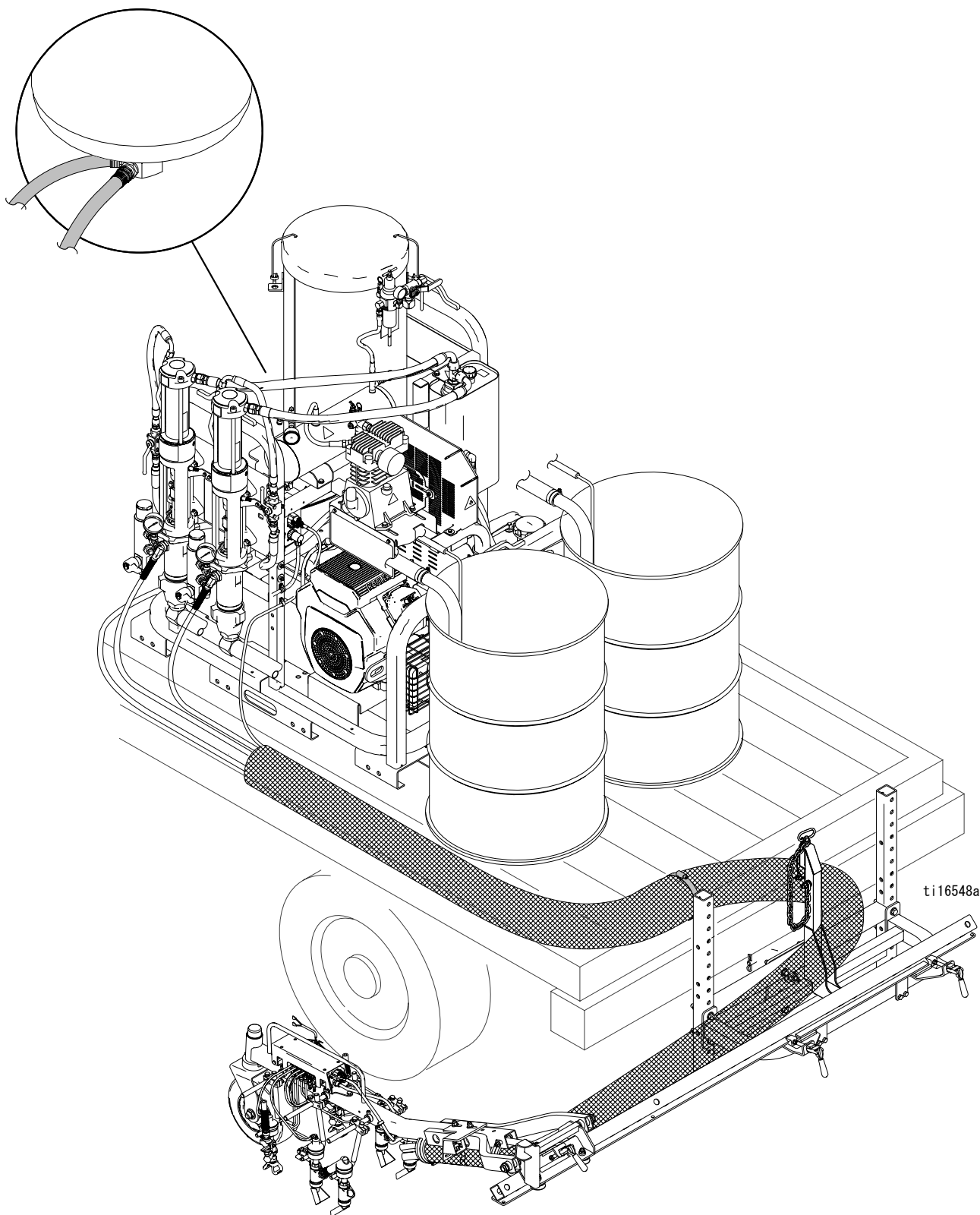
ti16660a

4. 高さ調節ブラケット (303) をボルト (312)、ワッシャ (307)、およびナット (315) で RoadPak 取り付けアーム (304) に取り付けます。

5. 設置位置に固定するために、レンチを使用してすべてのボルトを締めます (トルク 38.0 N-m (28 フィートポンド) まで)。

6. 収容ブラケット (302) を高さ調節ブラケット (303) に取り付けます。収容ブラケットの底面を地面から 53 cm ～ 63 cm (21 インチ～ 25 インチ) の位置に合わせてください。収容ブラケットが水平に取り付けられていることを確認してください。

注 : 取り付け用ブラケットを車両のベッドを通って、車両のフレームにボルトけします。

横置き

1. ボルト (312)、ワッシャ (307)、およびナット (315) でブラケット (316) を RoadPak に 4 か所ボルト付けします。最適なサポートを提供するために、できる限りにブラケット同士を離れた場所に設置するのが理想的です。ブラケットの取り付け場所は、RoadPak の車両に取り付けられる位置によります。

2. RoadPak 取り付けブラケット (304) をフレームの切り取られた穴に通してスライドし、取り付けアームをボルト (312)、ワッシャ (307)、およびナット (315) を手を使用してブラケットに締めます。

3. 高さ調節ブラケットを RoadPak 取り付けアーム (303) に取り付けます。

4. 設置位置に固定するために、レンチを使用してすべてのボルトを締めます (トルク 38.0 N-m (28 フィートポンド) まで)。

5. 収容ブラケット (302) を高さ調節ブラケット (303) に取り付けます。収容ブラケットの底面を地面から 53 cm ～ 63 cm (21 インチ～ 25 インチ) の位置に合わせてください。収容ブラケットが水平に取り付けられていることを確認してください。

注 : 取り付け用ブラケットを車両のベッドを通って、車両のフレームにボルトけします。

スライドビームの取り付け (24G630)

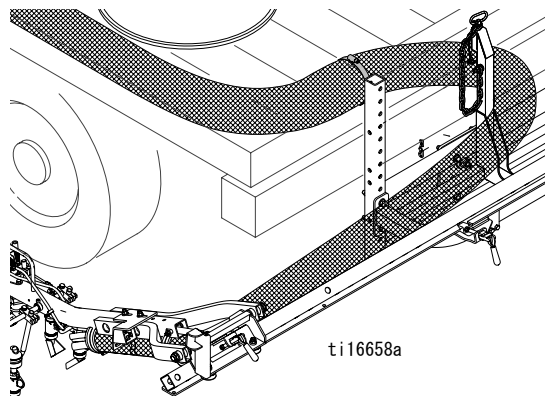
スライドビームは 2.2 m (87.75 インチ) の長さです。スライドビームは幅が広い車両に対応するために出荷しています。ビームは 1.9 m (75.75 インチ) の長さにまたは 1.5 m (60 インチ) の長さに切り詰められます。

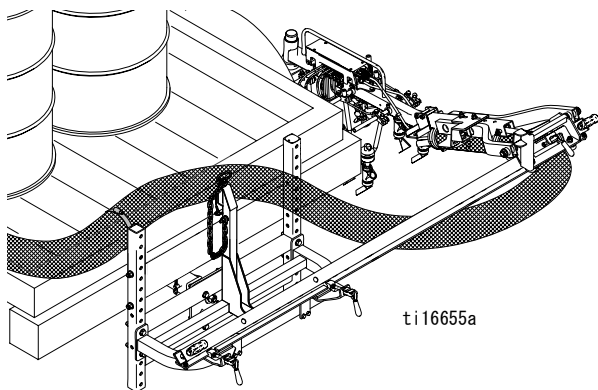
1. ビームを 1.9 m (75.75 インチ) の長さに詰める場合は、ビームの次の穴に向けてビームの端から 30 cm (12 インチ) 切ります。ビームを 1.52 m (60 インチ) の長さに詰める場合は、下に表示されているように 3 つ目の穴に向けてビームの端から 70.49 cm (27.75 インチ) 切ります。

2. 希望の長さを決定した後、チャンネル上のビームをブラケットの中にスライドしてください。

ガンアームの取り付け (24G628, 24G629)

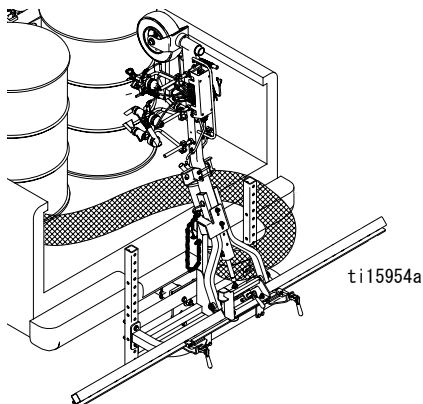
1. ガンアームアセンブリを車両の横に位置を合わせます。

2. スライドビームを車両の横からガンアームの位置に引き寄せます。ガンアームを持ち上げ、トラバースブラケットを表示されている位置に維持します。以下に表示されているように、スライドビームのトラックに取り付けるために、ビームをホイールに通してスライドします。

3. ハンドル (702) をスライドビームの両端に取り付けます。位置を維持するためにコッターピン (707) をハンドルに通して押します。両端でナット (706) とボルト (705) をスライドビームに通して締め、チャンネルで線として機能するようにします。

4. ホースが折り曲がらないように、アームを動かす前にガンアームにホースを寄せます。

5. スライドビームの端にガンアームの位置を合わせ、ゴムパッドとホースクランプ (320) でホースバンドルを高さ調節ブラケットに固定してください。

6. ガンアームを垂直の位置に持ち上げ、収容ブラケット上にスライドさせてください。

7. ガンアームを収容ブラケットの上に置き、収容ブラケットの上に乗るように適切に止め具の位置を合わせます。ピン (321) をガンアームのブラケットと収納ブラケットにスライドして通し、ガンアームを固定します。2 つのボルト (579) を締めて、ガンアームのブラケットを設置位置に固定します。

ポンプとタンクへのホースの取り回し

ホースルーティング

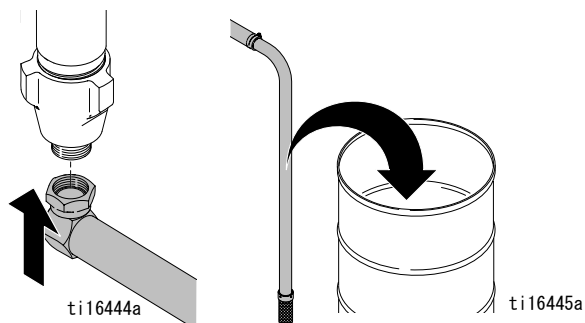
1. スライドビームを車両の片側に引き出します。ガンアームを引き出し、それを下げることでホースバンドルが適切な位置で固定されたことを確認し、片側から反対側まで完全に動くことを確認してください。必要に応じてバンドルを固定するホースクランプを調節してください。

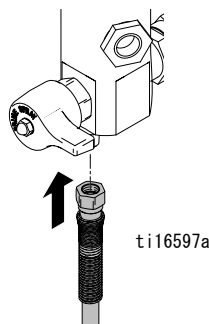
ti16658a

2. ガンアームを収容位置に持ち上げます。スライドビームを車両の反対側に引き出し、ガンアームをそちら側に引っ張り、完全な動作ができるようにホースの長さが十分であることを確認してください。

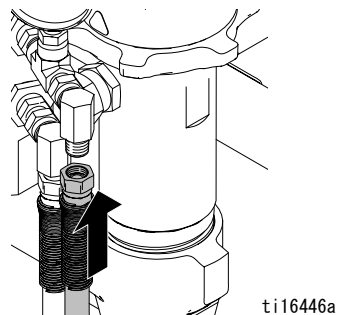
ti16655a

3. ガンアームを収容位置に戻し、ピンでその位置に押さえます。スライドビームを車両の中央に合わせます。スライドビームとガンアームそれぞれのクランプを締めることで、その位置に固定してください。

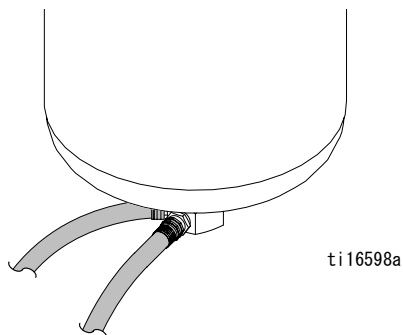
ti15954a

ホース接続

1. 吸引チューブを RPS 2900 ポンプに取り付けて、塗料用ドラム缶に取り回します。

ti16444a ti16445a

2. RPS 2900 フィルタアセンブリから戻りラインを取り付けて、塗料用ドラム缶に引き戻します。

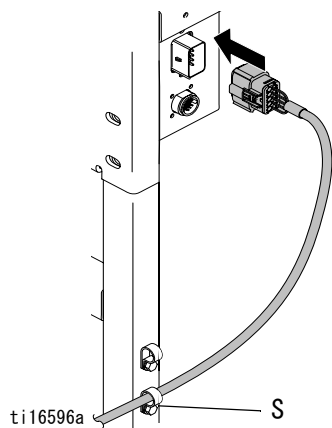
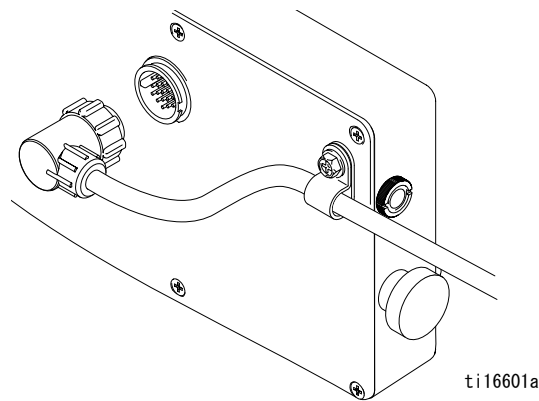
ti16597a

3. 塗料ラインを RPS 2900 フィルタアセンブリに取り付けます。2 色システムでは、塗料ガン 1 からポンプ 1 にホースを取り回し、塗料ガン 2 からポンプ 1 に 1 つのホースを取り回します。塗料ガン 2 からポンプ 2 に 2 つ目のホースを取り回します。

ti16446a

4. ビードラインをビードタンクに取り付けます。

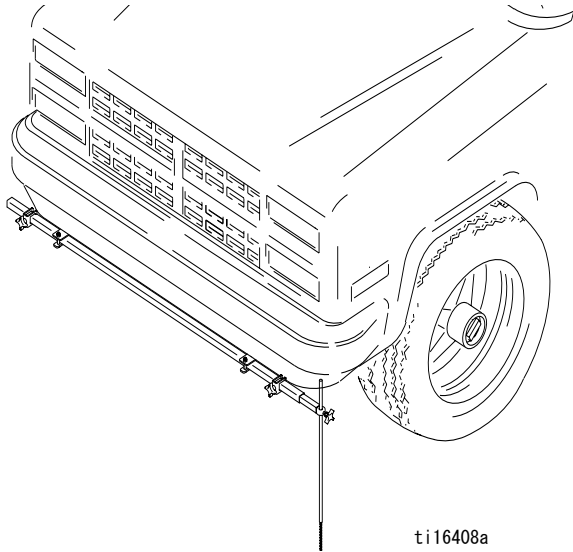
ti16598a

5. エアホースをエアタンクのクイック接続の取り付け金具に取り付けます。

電気ケーブルの接続

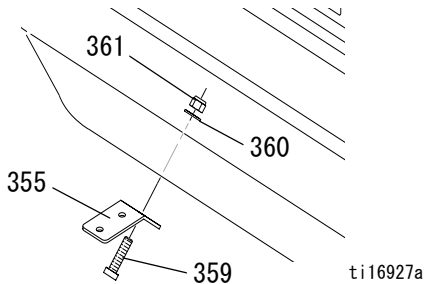
1. ガンアームを配線ボックスに接続します。接続の張力緩和 (S) のために、ケーブルをケーブルクランプに固定します。

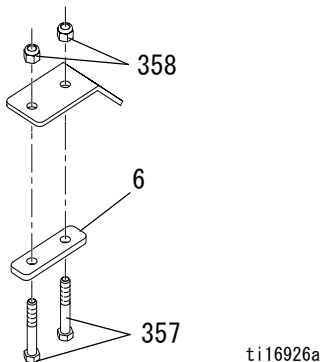
2. コントロールケーブルを配線ボックスに接続します。接続の張力緩和 (S) のために、ケーブルをケーブルクランプに固定します。

3. ケーブルを折り曲げずに、コントロールケーブルを車両の運転室に取り回します。ケーブルをコントロールボックスに接続します。接続の張力緩和のために、ケーブルをケーブルクランプに通します。

前方ポインタ取り付けの説明

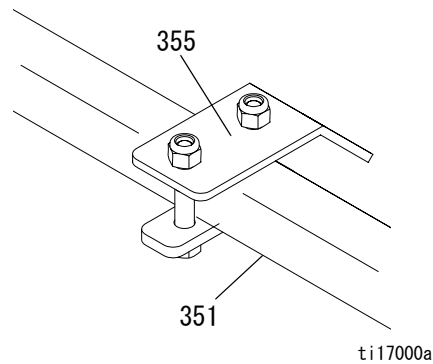
1. ユーザーがインジケーターロッドを運転位置から、または Road View カメラシステムから見ることが可能な、RoadPak ポインタシステムを取り付ける車両の位置を探してください。

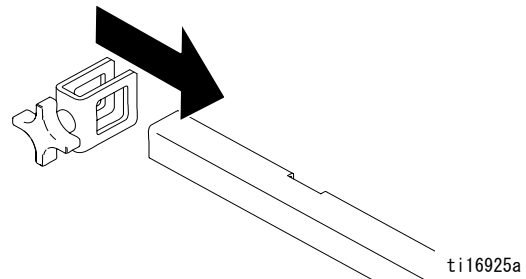
ti16408a

2. 必要である場合、希望の位置に 1.43 cm (9/16 インチ) の穴をドリルで開けます。

3. ボルト (359)、ワッシャ (360)、およびナット (361) で取り付けブラケット (355) を希望の位置に取り付けます。

ti16927a

4. ボルト (357) とナット (358) でロックバー (6) を取り付けブラケット (355) に手で締めます。

ti16926a

5. サポートバー (351) をブラケットに通して (355) スライドさせ、締め金具を締めて設置位置に固定します。

ti17000a

6. 延長クランプをサポートバーに取り付けます。

ti16925a

7. インジケーターロッド (362) を誘導延長アーム (352) に挿入し、ノブ (354) で固定します。

8. 延長クランプを緩めて誘導延長アーム (352) を希望の位置にスライドさせることで、インジケーターロッドを調節してください。ノブ (354) を締めて固定します。

前方誘導機械システムの取り付けと調節 (オプション)

誘導システムの取扱説明書を参照してください。

ビデオ誘導システムの取り付けと調節 (オプション)

RoadView カメラシステムの取扱説明書を参照してください。

ウィンチキットの取り付け (オプション)

ウィンチキットの取扱説明書を参照してください。

操作

圧力開放

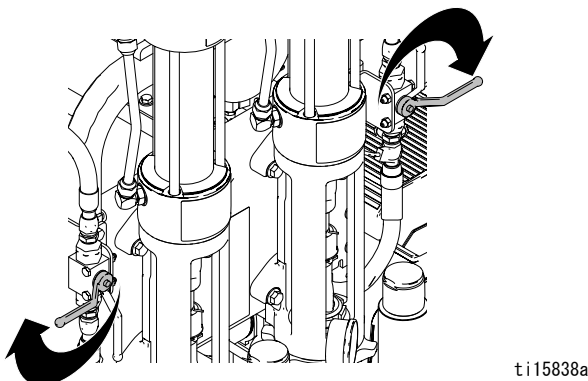
噴射による危険
システムの偶発的な始動または噴霧を防ぐため、システムの圧力は必ず手動で逃がす必要があります。高圧下の液は皮膚内に噴射される可能性があり、それは重大な人身事故を引き起こす恐れがあります。液の噴射、飛散または可動部品による人身事故の危険を減らすには、以下のことが起こる際に、**圧力開放**に従ってください。

- 圧力を開放するよう説明書に指示がある場合、
- スプレー作業を中止する場合、
- システム装置を点検または修理する場合、
- スプレーチップを取り付け、または清掃する場合。

火災、爆発の危険
システムを洗浄する場合は、接地コードを必ず接続してください。

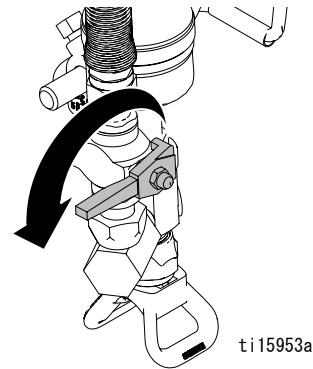
RPS 2900 ポンプの液圧開放

1. 油圧バルブをオフ位置にセットします。

ti15838a

2. ハーフスロットルでエンジンを運転させます。
3. 排出物を受けるために、空缶を塗料ガンの下に置きます。
4. ガンを通してホースの圧力を逃がします。プログラマブル Skipline コントローラを使用して、毎回ガンを少なくとも 3 秒間トリガーしてください。

   注：フィルタドレインバルブではなく、ガンで圧力を必ず逃してください。

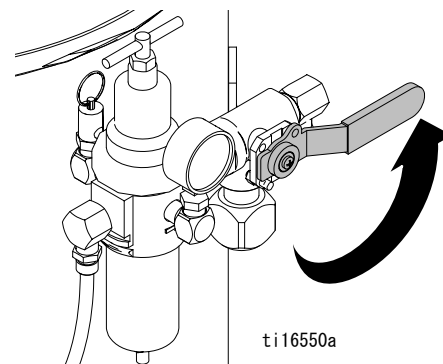
5. 塗料ガンのボールバルブを閉じます。

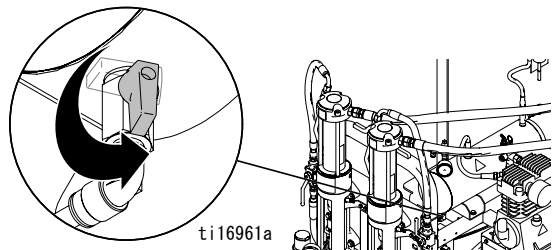
ti15953a

6. すべてのドレインバルブを 1 つずつ開けます。
7. 塗料がシステム内で乾燥することを防ぐために、バルブを速やかに閉じてください。

注：上のステップを行った後で、スプレーガンまたはホースが完全に詰まっている、または圧力が完全に取り除かれていない疑いがある場合、**非常にゆっくりと**ホース端部のカップリングを緩め、徐々に圧力を逃がします。次に、完全に緩めてます。その後、バルブまたはホースを清掃します。

ビードシステムの圧力開放

1. ビードシステムのバルブをオフ位置に回すことで、ビードタンクのエア圧を逃がします。

ti16550a

エアシステムの圧力開放

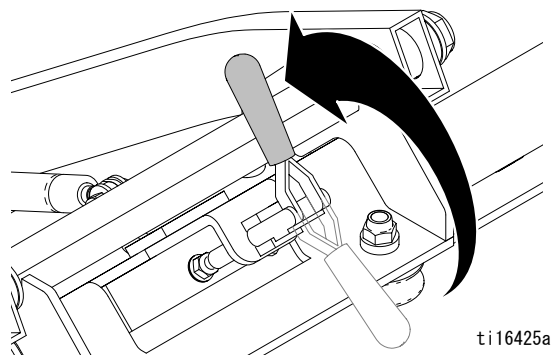
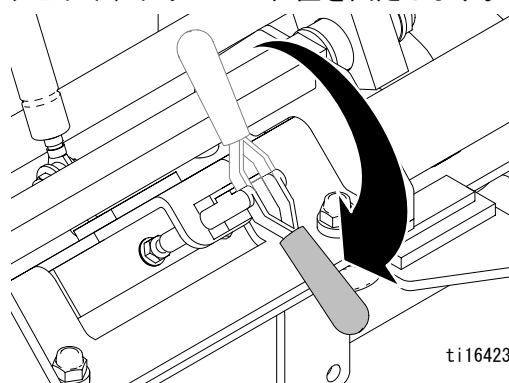
1. エアバルブを開位置に回すことで、エアタンクのエア圧を逃がします。

緊急停止

RoadLazer システムの全体を停止するには、プログラマブル Skipline コントローラの電源オン / オフをオフ位置にセットします。

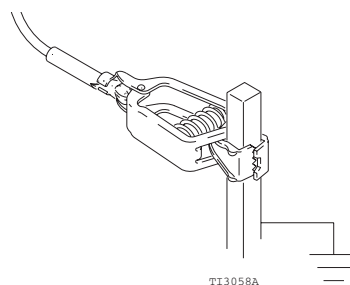
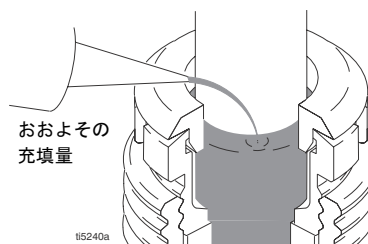
反射材料の積み込み

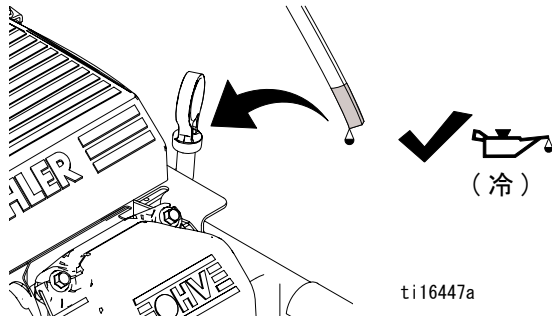
1. プログラマブル Skipline コントローラの電源オン / オフをオフにセットします。
2. RoadLazer エンジンのイグニッションキーをオフにセットします。
3. ゲージに 0 が表示されるまでボールバルブを開けることでエアシステムの圧力を逃がします。
4. ビードシステムのバルブをオフ位置に回すことで、ビードタンクのエア圧を逃がします。
5. ビードタンクからカバーを外します。
6. 不要物がタンクに入るのを防ぐために、反射材料を覆ってください。
7. 反射材料をビードタンクに積み込みます。

スライドビームとガンアームのセットアップ

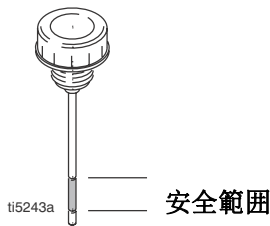
1. ガンアームクランプとスライドビームクランプのロックを解除します。

2. スライドビームを車両の左側または右側に引っ張ります。スライドビームクランプをロックします。
3. 直立の収容位置からガンアームを移動させ、ブームの端にスライドさせます。ガンアームをゆっくりと下げ、クランプで位置を固定します。

システムの塗装する準備

初期設定

1. RoadLazer 接地用ストラップで大地アースに接地します。

2. パッキンの早期磨耗を防ぐため、スロートパッキンナットに TSL を満たします。スプレーする毎にこれを行い、格納してください

3. エンジンオイル量を点検します必要であれば、SAE 10W-30（夏）または 5W-20（冬）を追加します。

ti16447a

4. 燃料タンクに注油します。

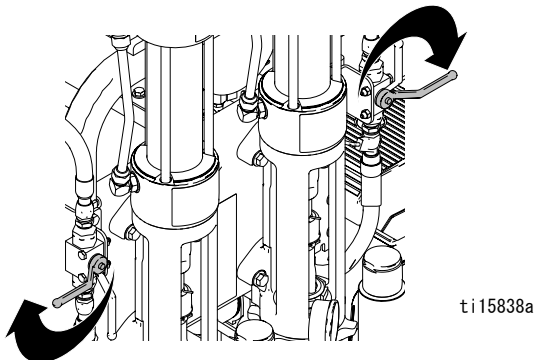
5. 油圧オイルの量を確認します。Graco 油圧オイル、ISO 46 169236（18.9 リットル/5 ガロン）または 207428（3.8 リットル/1 ガロン）のみを追加してください。油圧タンクの容量は約 15.14 リットル（4.0 ガロン）です。

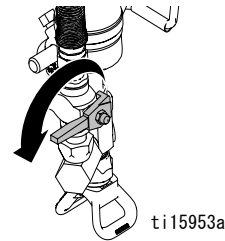
ti5243a

6. 圧縮機内のオイル量を確認します。注：赤い点が見える場合は、オイルを追加してください。

ti16789a

7. すべてのホース/取り付け金具が締まっていることを確認してください。

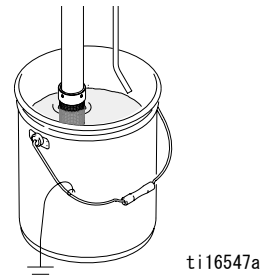
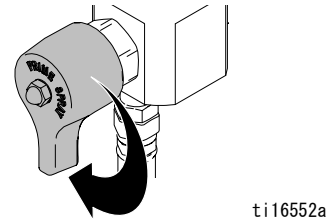
8. 油圧ラインを閉位置に回します。

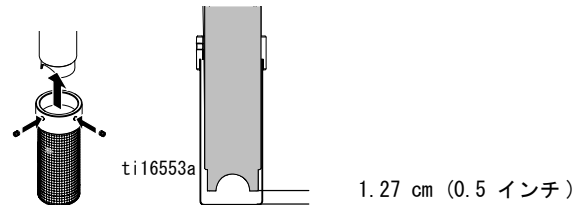
ti15838a

9. ガンの側にあるポンプレバーを時計回りに 1/4 回転させてオフ位置にします。

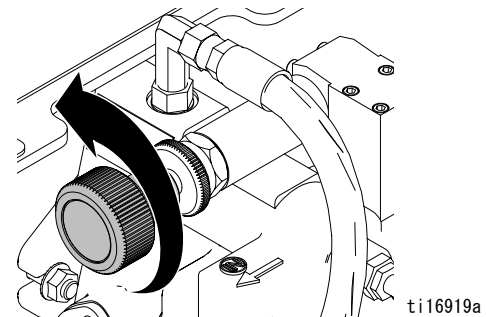
ti15953a

10. 洗浄用液体を部分的に満たされた接地済み金属缶に吸引チューブとドレインチューブを入れます。接地ワイヤを缶および大地アースに接続します。

ti16547a

11. プライムバルブを閉めます。

ti16552a

12. 汚れのないインレットストレーナを取り付けます注：ストレーナの下部と吸引チューブの間に最短 1.27 cm（0.5 インチ）が必要です。

ti16553a

13. 圧力制御を反時計回りに回し、最低圧の位置にします。

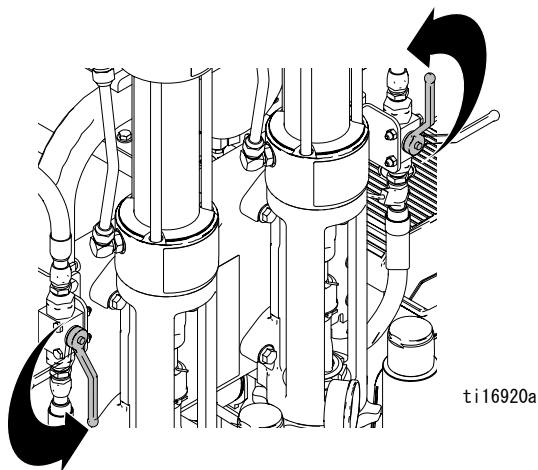
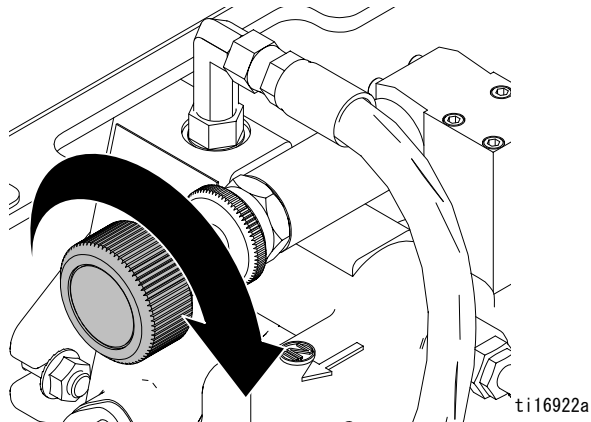
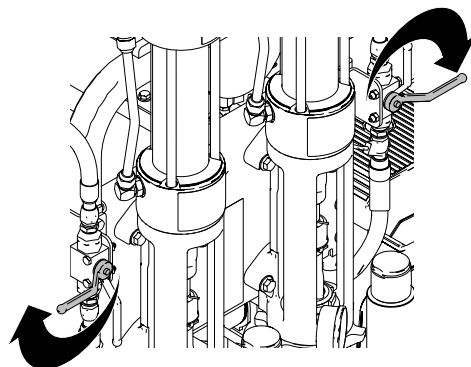
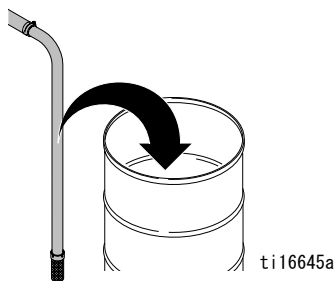
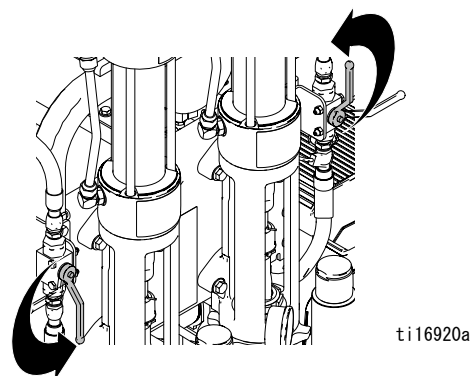
ti16919a

エンジンの始動

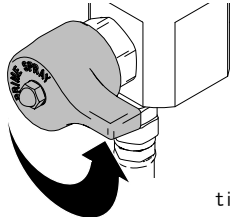
ガソリンは、特定の条件下では非常に可燃性および爆発性です。エンジンから切断されると、燃料ラインコネクタから燃料が吹き出す可能性があります。燃料が熱をもったマフラーに触れ、火災や爆発を起こす恐れがあります。火災や爆発のリスクを減らすために、燃料ラインを外す前に、常に燃料タンクを通気し、エンジンマフラーを冷却させてください。

1. プログラマブル Skipline コントローラで電源のスイッチをオンにセットします。
2. エンジンをチョーク位置オンにセットします。
3. スロットルを半分の速度に設定し、キーを回します。

4. エンジン始動後、チョークをオフにセットします。

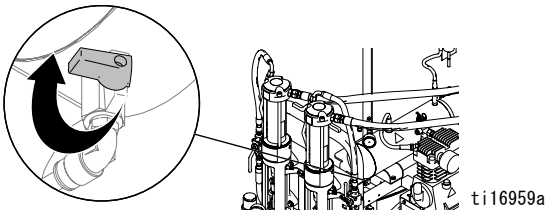
ポンプの選択 / 塗料吸引

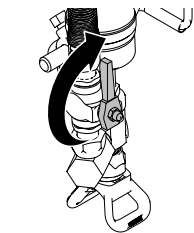
1. 油圧バルブを開けて、ポンプを起動させます。

2. ポンプがストロークし始めるまで圧力コントロールを時計回りにゆっくり回します。

3. 戻りラインから洗浄液が出てきたら、油圧バルブをオフ位置にセットします。

4. 塗料用ドラム缶に吸引ホースを入れます。

5. 油圧バルブを開けて、ポンプを起動させます。

6. 戻りラインから塗料が出てきたら、油圧バルブをオフ位置にセットします。

7. すべてのダンプバルブを閉めます。

ti16551a

8. 塗料ドラムに戻りラインを入れます。

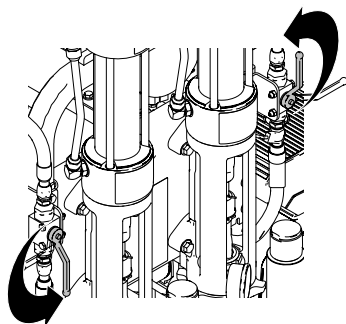
ガンの塗料吸引

1. エアバルブを閉め、エアシステムを加圧します。

ti16959a

2. 塗料ポンプまたは使用される色に対応するスプレーガンのボールバルブのみを開けます。**注**：同時に 2 色のガンのボールバルブ両方を開けないでください。塗料色の汚染が起こる可能性があります。

ti15657a

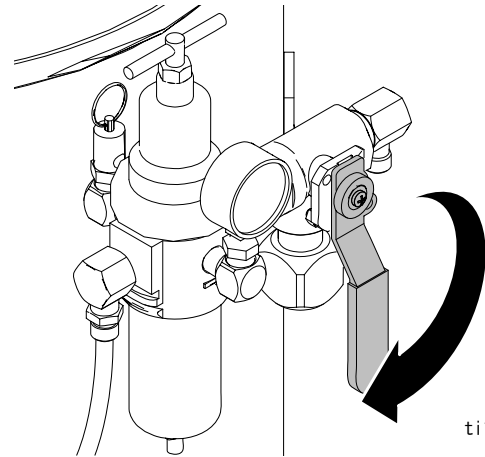
3. プログラマブル Skipline コントローラを使用してガンをオンにします（Skipline コントローラの取扱説明書を参照してください）。

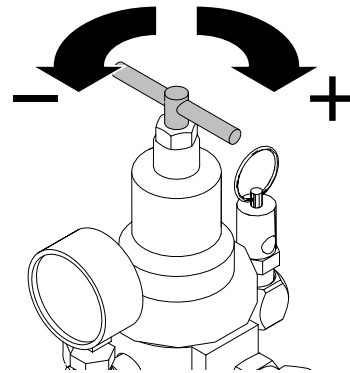
4. スプレーガンからの排出物を受けるために、空缶をスプレーガンの下に置きます。

5. 油圧バルブをオン位置にセットして、ポンプを起動させます。

ti16920a

6. プログラマブル Skipline コントローラでガンをオフにします。

ビードシステムをオンにする

1. ビードシステムのバルブをオン位置に回します。

ti16549a

2. 調節ノブを回して、ビードタンクの圧力を希望通りに設定します。

ti16910a

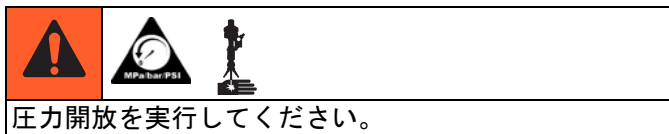
3. アースから接地ストラップを取り外して固定します。

4. これでシステムに塗装の準備が整いました。プログラマブル Skipline コントローラでガン 1 または 2 を選択します。

スプレーの開始

RoadLazer コントロールシステムのメニューから適切な手順を選択してください。Skipline コントローラの取扱説明書を参照してください。

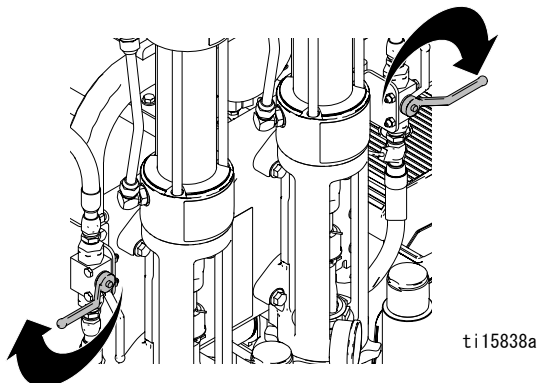
システムの洗浄

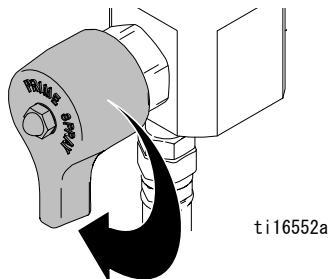
圧力開放を実行してください。

適合する溶剤でシステムを洗浄します。圧力下のシステムで漏れがあるかを確認します。漏れが見つかった場合、**圧力を逃し**、漏れを修理します。システムを再加圧し、漏れがあるか確認します。

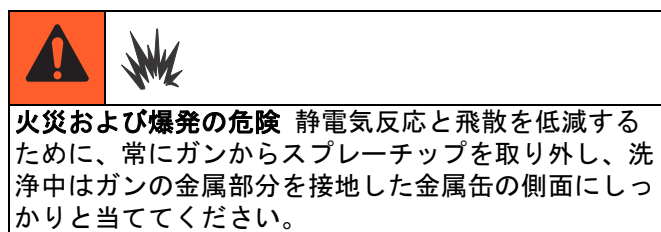
1. 接地クランプで RoadLazer をアースに接地します。

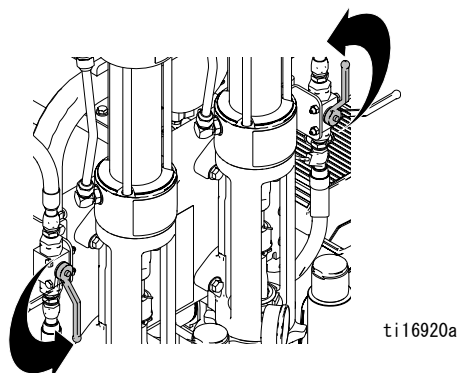
注：RoadLazer を安全に操作するためには、接地クランプと接地ストラップの両方が必要です。接地クランプは停止状態で使用されます。

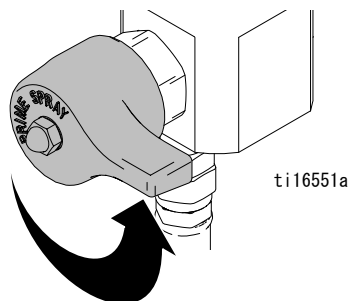
2. ポンプの油圧バルブをオフ位置にセットします。

ti15838a

3. 18.9 リットル (5 ガロン) 缶を水または適合する溶剤で満たします。塗料吸引ホースを缶に入れます。
4. 塗料の戻りラインを空缶に入れます。
5. すべての塗料ポンプのダンプバルブを開きます。

ti16552a

6. プログラマブル Skipline コントローラをオンにします。
   注：コントローラがオンになるまでユニットは始動しません。
7. 次のようにエンジンを始動させます。
   a. チョークをオンにセットします。
   b. スロットルをセットします。
   c. キーを回します。
   d. エンジン始動後、チョークをオフにセットします。
   e. スロットルを半分の速度にセットします。

火災および爆発の危険 静電気反応と飛散を低減するために、常にガンからスプレーチップを取り外し、洗浄中はガンの金属部分を接地した金属缶の側面にしっかりと当ててください。

8. 油圧バルブをオン位置にセットして、ポンプを起動させます。

ti16920a

9. 水 / 溶液がスプレーガンから出たら、水圧バルブをオフ位置にセットします。
10. ダンプバルブを閉めます。

ti16551a

11. 塗料ポンプまたは使用される色に対応するスプレーガンのボールバルブのみを開けます。**注**：同時に 2 色のガンのバルブ両方を開けないでください。塗料色の汚染が起こる可能性があります。

12. スプレーガンからの排出物を受けるために、空缶をスプレーガンの下に置きます。

13. プログラマブル Skipline コントローラでガンをオンにします。

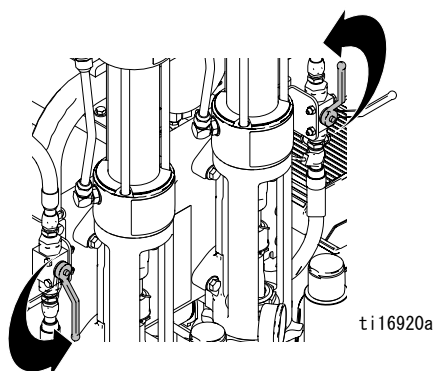
14. 油圧バルブをオン位置に設定して、ポンプを起動させます。

15. 水 / 溶液がスプレーガンから出たら、水圧バルブをオフ位置にセットします。

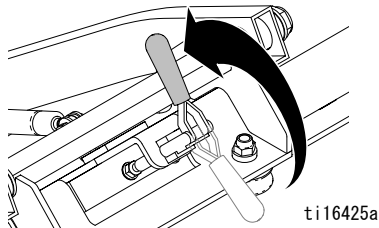
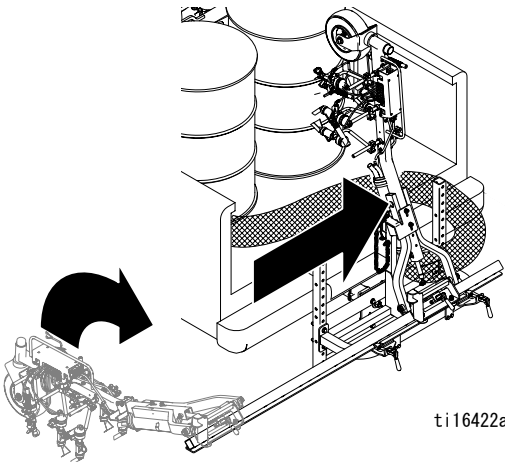
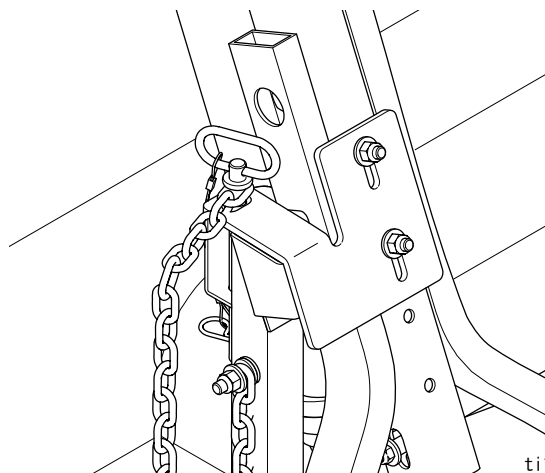
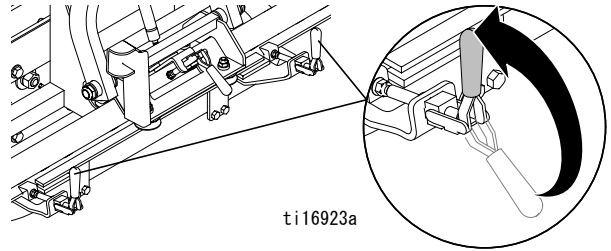
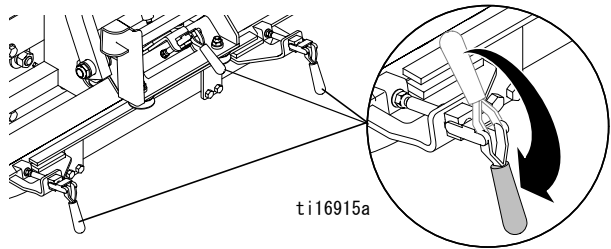
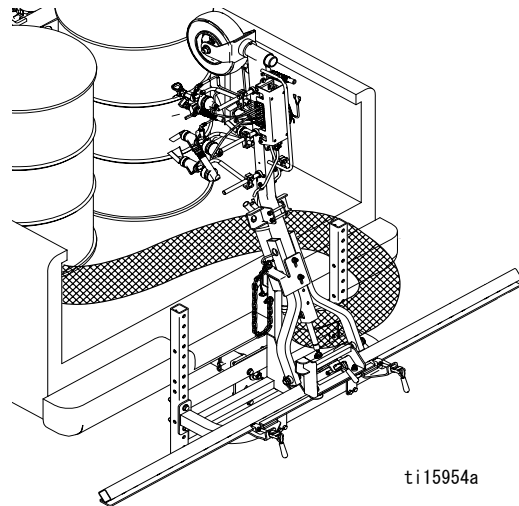
16. プログラマブル Skipline コントローラでガンをオフにします。

17. エンジンとプログラマブル Skipline コントローラを停止します。

18. 塗料ポンプのダンプバルブとスプレーガンのボールバルブを開いた状態にします。

19. アースから接地ストラップを取り外して固定します。

移動のためにガンアームを固定

注：塗料ガンのボールバルブが開いているとき、システムに圧力がかかっているとき、エンジンが動いているとき、部品が破損する恐れがあるため、RoadLazer を移動しないでください。

1. スライドビームの上にある、ガンアームの赤いハンドルが付いたクランプのロックを外します。

2. ガンアームを地面から持ち上げ、RoadLazer の中央に押し込みます。

3. フレームからガンアームのヒッチピンを引き出します。
4. フレームにヒッチピンを戻し、クリップで固定します。

5. 2 つの赤いハンドルが付いたクランプのロックを外し、スライドビームを車両の中央に位置を合わせます。

6. 3 つの赤いハンドルが付いたクランプをロックし、スライドビームとガンアームを固定します。

格納位置の RoadLazer

技術データ

最大使用圧力	
塗料	200 bar (2900 psi)
油圧	134 bar (1950 psi)
ガラスビードシステム	5 bar (75 psi)
最大塗料フロー	4.5 gpm @ 138 bar (2000 psi)
空気式引き金の動作圧力	
最小	5.5 bar (80 psi)
最大	14 bar (200 psi)
音響レベル - 2 m (6.2 フィート) で計測 ISO-3744 に準拠した最大動作条件	
音圧レベル	111.7 dB(A)
音圧レベル	91.7 dB(A)
重量	
24G624 (1) ポンプ RoadPak	386 kg (850 lb)
24G625 (2) ポンプ RoadPak	431 kg (950 lb)
24G629 (2) ポンプガンアーム	61 kg (134 lb)
24G627 スライドイン式取り付けフレーム	77 kg (170 lb)
24G626 ヒッチ取り付けフレーム	54 kg (120 lb)
エンジン	Kohler® 18 HP
油圧オイルのリザーバの容量	4 ガロン (15 リットル)
圧縮機オイル	9502 SAE 30W 非清浄オイル
油圧オイル	Graco 社認定 169236 (18.9 リットル (5 ガロン)) 207428 (3.79 リットル (1 ガロン)) ISO 46
ガラスビード容積	204 kg (450 lb)
Kohler® は Kohler Co. の登録商標です。	

Graco Standard Warranty

Graco warrants all equipment referenced in this document which is manufactured by Graco and bearing its name to be free from defects in material and workmanship on the date of sale to the original purchaser for use. With the exception of any special, extended, or limited warranty published by Graco, Graco will, for a period of twelve months from the date of sale, repair or replace any part of the equipment determined by Graco to be defective. This warranty applies only when the equipment is installed, operated and maintained in accordance with Graco's written recommendations.

This warranty does not cover, and Graco shall not be liable for general wear and tear, or any malfunction, damage or wear caused by faulty installation, misapplication, abrasion, corrosion, inadequate or improper maintenance, negligence, accident, tampering, or substitution of non-Graco component parts. Nor shall Graco be liable for malfunction, damage or wear caused by the incompatibility of Graco equipment with structures, accessories, equipment or materials not supplied by Graco, or the improper design, manufacture, installation, operation or maintenance of structures, accessories, equipment or materials not supplied by Graco.

This warranty is conditioned upon the prepaid return of the equipment claimed to be defective to an authorized Graco distributor for verification of the claimed defect. If the claimed defect is verified, Graco will repair or replace free of charge any defective parts. The equipment will be returned to the original purchaser transportation prepaid. If inspection of the equipment does not disclose any defect in material or workmanship, repairs will be made at a reasonable charge, which charges may include the costs of parts, labor, and transportation.

THIS WARRANTY IS EXCLUSIVE, AND IS IN LIEU OF ANY OTHER WARRANTIES, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO WARRANTY OF MERCHANTABILITY OR WARRANTY OF FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

Graco's sole obligation and buyer's sole remedy for any breach of warranty shall be as set forth above. The buyer agrees that no other remedy (including, but not limited to, incidental or consequential damages for lost profits, lost sales, injury to person or property, or any other incidental or consequential loss) shall be available. Any action for breach of warranty must be brought within two (2) years of the date of sale.

GRACO MAKES NO WARRANTY, AND DISCLAIMS ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, IN CONNECTION WITH ACCESSORIES, EQUIPMENT, MATERIALS OR COMPONENTS SOLD BUT NOT MANUFACTURED BY GRACO. These items sold, but not manufactured by Graco (such as electric motors, switches, hose, etc.), are subject to the warranty, if any, of their manufacturer. Graco will provide purchaser with reasonable assistance in making any claim for breach of these warranties.

In no event will Graco be liable for indirect, incidental, special or consequential damages resulting from Graco supplying equipment hereunder, or the furnishing, performance, or use of any products or other goods sold hereto, whether due to a breach of contract, breach of warranty, the negligence of Graco, or otherwise.

Graco Information

For the latest information about Graco products, visit www.graco.com.

TO PLACE AN ORDER, contact your Graco distributor or call 1-800-690-2894 to identify the nearest distributor.

特許の情報については、www.graco.com/patents を参照してください。

取扱説明書原文の翻訳。This manual contains Japanese. MM 3A1214

Graco Headquarters: Minneapolis
International Offices: Belgium, China, Japan, Korea

GRACO INC. AND SUBSIDIARIES • P.O. BOX 1441 • MINNEAPOLIS MN 55440-1441 • USA

www.graco.com
Revised September 2012